

## 角膜 必修習得項目

1. 角結膜感染症を診断し、塗抹および培養に必要な検体採取ができる。
  - ・各種染色法を実践できる。
  - ・アデノウイルス結膜炎の診断ができ、感染予防対策がとれる
2. 角結膜・眼表面構造を理解する。
  - ・角膜（上皮、実質、内皮）と結膜（上皮、杯細胞、線維芽細胞）の構成細胞について、それぞれの特徴を理解する。
  - ・上皮型角膜ヘルペスの診断と治療ができる。
3. 涙腺、涙液動態を理解する。涙腺からの涙液分泌、眼表面での涙液分布と涙小管からの涙液排出路を覚える。
  - ・ドライアイの診断ができ、治療計画を立てることができる。
4. 角膜疾患の病態生理に眼瞼異常、涙液動態などが影響することを理解する。
  - ・角膜化学腐食の診断と処置ができる。
5. 細隙灯を用いて、直接照明法、徹照法、強膜散乱法、鏡面反射法などを使い分けることができる。
  - ・角結膜の所見を正確に記録できるようになる。
6. 結膜炎の鑑別診断ができ、治療計画を立てることができる。
7. 生体染色、シルマー試験、角膜知覚検査などを正確にできるようになる。
8. 角膜形状解析、パキメータなどの結果を評価できるようになる。
  - ・円錐角膜の診断ができる
9. 角結膜手術の助手ができるようになる。
  - ・角膜移植の手術適応を理解している。
10. 主訴、症状と臨床所見より考えられる診断が列挙できるようになる。
11. 薬剤などによる保存的療法の適応か、外科的手技が必要かを判断できるようになる。

になる。

- ・薬剤の薬理作用、副作用についても理解している。

12. 担当症例のプレゼンテーションができるようになる。

13. 角結膜疾患の処置ができるようになる。

- ・角膜縫合や涙点プラグができる。

14. 指導医の下で、基本的手術を執刀できるようになる。

翼状片切除術